

大阪環状バイエリア構想

I. 現状と課題

- 1 関西の特徴 : 長く日本の都、人や文化の受け入れ
- 2 関西の課題と変化: 人口の減少・流出や相対的地位の低下
他方で今後「イノベーションの機運」等
- 3 新たな変化の流れ: カーボンニュートラル、生物多様性
- 4 大阪環状バイエリアのポテンシャル :
人流・物流の大動脈、生物多様性の源
カーボンニュートラルの拠点

大阪環状バイエリアのありたい姿



都市部と近接するエリア
= **ネイチャーポジティブ**
・経済活動と自然再生との共存
・GXの拠点

自然を色濃く残すエリア
= **ウェルビーイング**
・新たな働き方暮らし方

地域全体を支える幹線
= **スマートインフラネットワーク**

II. 将来像と提言の方向性(Target2050)

- 1 関西の目指す姿 : 持続的なイノベーションの拠点、新たな生活・産業スタイルの拠点、レジリエントな拠点
- 2 大阪環状バイエリアのありたい姿 : ネイチャーポジティブ、ウェルビーイング、スマートインフラネットワーク

III. 提言プロジェクト

- 1 水運振興による親水機会の拡大と施設整備 : 都市部の水運復活、バイエリア航路、瀬戸内クルーズ
- 2 グリーントランスフォーメーション(GX)の推進 : 脱炭素エネルギー拠点、空飛ぶ自動車等の蓄電・給電基地
- 3 藻場の再生等、自然共生エリア拡大による環境改善 : 沿岸全体を藻場とする「大阪湾MOBAリンク構想」の実現
- 4 分散型、フレキシブルな滞在施設の充実 : 泉南～淡路島エリアで包摂的な滞在エリア整備
- 5 湾岸道路の充実による効率的・機能的な物流幹線の整備 : 大阪湾岸道路西伸部の完遂、紀淡海峡連絡橋検討
- 6 脱炭素時代にふさわしい物流幹線・ネットワークの構築 : 自動物流幹線を湾岸部の地下に整備